

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	国語・現代文B	単位数	2	単位	履修学年	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな文章を読み、ものの見方、考え方を一層深め、自ら進んで表現したり、読書したりすることによって人生を豊かにする態度を身につける。 ・文章を書く力を身につける。 						
使用教材	<p>【教科書】新編現代文B改訂版（大修館）</p> <p>【副教材】新訂国語図説四訂版（京都書房）／国語辞典第十一版（旺文社）</p>						
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に関心を持ち、適切に使い、進んで理解しようとしているか。 ・分からないことや知らないことについて、進んで学習しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを筋道立てて話すことができるか。 ・相手のことを考えて、わかりやすく話すことができるか。 ・相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道立てて適切に文章を書くことができるか。 ・目的や課題に応じた文章を的確に表現することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな文章を読むことを通じて、人間、社会、自然などについて自分の考えを深める姿勢ができていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにできているか。また漢字を正確に使用しているか。 ・文体や修辞などの表現上の特色を的確に捉えられているか。 ・作品の時代背景や文化を理解できているか。 		
評価方法	<p>目標を踏まえ、「関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」は、日々の授業への取り組みを中心に、「書く能力」「読む能力」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価し、提出物の状況や小テストへの取り組み等、総合的に判断して最終的に評価する。</p>						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・評論分野より数篇 ・小説分野より数篇 			<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開をたどりながら、さまざまなテーマについての知識や考え方を深める。 ・文章を通じて、人生のあり方について考える。 			
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・こころ ・評論分野より数篇 ・小論文 			<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・論理の展開をたどりながら、さまざまなテーマについての知識や考え方を深める。 ・小論文の書き方を学ぶ。さまざまな時事問題について学び、小論文を書く 			
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・評論分野より数篇 ・小説分野より数篇 ・小論文 			<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開をたどりながら、さまざまなテーマについての知識や考え方を深める。 ・文章を通じて、人生のあり方について考える。 ・小論文の書き方を学ぶ。さまざまな時事問題について学び、小論文を書く。 			
学習上の留意点							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	数学・数学B	単位数	2 単位	履修学年	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルについての様々な知識を習得し、それらを活用することができる。 ・数列の規則性より、一般項やその和を求めることができる。 ・数学的帰納法を利用して、自然数についての命題を証明することができる。 				
使用教材	<p>【教科書】改訂版 最新 数学B (数研出版) 【副教材】基本と演習 テーマ数学Ⅱ+B (数研出版)、自主教材 (プリント)</p>				
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解	
	数学的活動を通してベクトル、数列における考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	数学的活動を通して、ベクトル、数列における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	ベクトル、数列において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	ベクトル、数列における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
評価方法	「関心、意欲、態度」については、授業に取り組む態度や発表などによる評価と、提出物などの内容を総合的に判断し評価する。「数学的な見方や考え方」、「表現・処理」、「知識、理解」については、定期考査や課題テスト、日常の授業の取り組みなどを総合的に判断し評価する。				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	ベクトル (平面) <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの和、差、実数倍 ・ベクトルの成分表示 ・内積 ベクトル (平面) <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの図形への応用 ・ベクトル方程式 ベクトル (空間) <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの和、差、実数倍 ・ベクトルの成分表示 ・内積 ・ベクトルの図形への応用 ・ベクトル方程式 		<ul style="list-style-type: none"> ・「方向」と「長さ」のふたつをあわせ持つ「ベクトル」を学習する。ここでは、平面上のベクトルを扱い、ベクトルの和・差・実数倍や、内積について学習する。 ・これまでに学んだ内容を図形に応用し、様々な問題のベクトルでの表現を学習する。 ・空間におけるベクトルは、第3成分が増えるだけで、x y 平面上のベクトルの性質や公式はそのまま利用できる。このことを利用して、さらにベクトルについて深く学習する。 		
2 学期	数列 <ul style="list-style-type: none"> ・等差、等比数列の一般項とその和 ・いろいろな数列の和 ・和と一般項 ・階差数列 ・漸化式 ・数学的帰納法 		<ul style="list-style-type: none"> ・ある決まった規則にしたがって並んでいる数字の列(数列)を様々な角度から眺め、そこからきれいな規則性などを見だし解法につなげる。 ・自然数に関する命題の証明においてとても有効な数学的帰納法という証明方法について学習する。 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Bの総合問題 		<ul style="list-style-type: none"> ・応用問題にも取り組む。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にすること。 ・与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出すること。 ・分からないところは、そのままにせず、必ず質問すること。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	芸術・美術Ⅲ	単位数 2	単位	履修学年 3年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題作品の制作を通して、ものを見るための感性を伸ばし、深く物事を観察する力や想像力を身につける。 ・表現力をより一層伸ばすと共に、美術についての理解を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てる。 			
使用教材	<p>【教科書】 高校美術3 (日本文教出版)</p> <p>【副教材】 クロッキーブック、自主教材</p>			
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	発想力・創意工夫	表現技術	知識・理解
	制作課題のテーマに関心を持ち、内容的に正確に把握している。芸術的な創作活動に積極的に取り組んでいる。	課題作品のテーマやその表現方法を芸術的な感性により、独創性のある世界を構築している。	課題作品の制作において、道具や材料の特性を工夫しながら、自分の表現を実現している。	作品を鑑賞する態度と制作技法を理解し自己作品と比較検討ができる。
評価方法	<p>目標を踏まえ、美術Ⅲに対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「発想力・創意工夫」「表現技術」「知識・理解」は、提出作品を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況(完成度、技術、対象物の理解度、発想力)等をもとに総合的に判断し評価します。</p>			
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い		
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー ・鉛筆・木炭デッサン(静物、石膏像) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物クロッキーを行い、基本的なデッサン力を身に付けます。 ・与えられたモチーフをデッサンの技法を理解し、形態、陰影、空間、質感等を、工夫しながら表現します。 		
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・着彩(絵画的表現) ・デザイン作品の制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたモチーフを絵の具の特性を知り、工夫しながら表現します。また、写實的にだけでなく自分なりの個性を表現します。 ・与えられた課題を自らイメージや、材料の使い方等の工夫により、表現するだけでなく、ニーズを考慮に入れながら、アイデアを出す思考を養います。 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・立体構成作品の制作 ・作品鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らイメージしたものを、与えられた材料を基に立体的な造形作品に仕上げます。イメージする力を身につけ、材料の使い方の工夫により、立体的な造形ができるようにします。 ・鑑賞力を身につけ、感性を高め、美術文化について理解を深め、個性豊かな能力を高めます。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品の完成度を追及するには、授業中の集中力が必要です。 ・制作に必要な道具や材料を事前に準備する計画性が必要です。 ・課題作品の提出期限は必ず守ってください。 			

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（機械科）・生産システム技術	単位数	2 単位	履修学年	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・生産に関わる計測、生産管理、品質管理について理解する。 ・電気の基礎、制御の種類や機構の基礎を理解する。 ・生産システムに関する電子回路、情報機器と電子部品について理解する。 				
使用教材	【教科書】生産システム技術（実教出版）				
評価の観点 ・評価規準	「関心・意欲・態度」	「思考・判断」	「技能・表現」	「知識・理解」	
	<p>生産システムに関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組みるとともに、創造的・実践的な態度を身につけている。</p>	<p>生産システムに関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。</p>	<p>生産システムに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。</p>	<p>生産システムに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における意義や役割を理解している。</p>	
評価方法	<p>目標を踏まえ、生産システム技術に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。</p>				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・生産管理 生産設計 品質管理 ・電気基礎学習 オームの法則 キルヒホッフの法則 		<ul style="list-style-type: none"> ・生産に関わる計測、生産計画、品質管理などの生産にかかわる事柄を学習します。 ・電気の基礎法則について学習します。 		
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・電気基礎学習 直流回路 交流回路 ・情報機器と電子部品 パーソナルコンピューター 電子部品 		<ul style="list-style-type: none"> ・電気の基礎である直流・交流について学習し、その法則に従った電気機器を理解します。 ・電子部品について、それぞれの特性、特徴を学習し、それを活かした機器について学習します。 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・制御技術 シーケンス回路 		<ul style="list-style-type: none"> ・制御の基礎であるシーケンス制御について学習します。1・2年生の実習内容を思い出しながら学習すると、より効果的です。また、平行して3年生の実習で実技をします。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・生産システム技術は、電気についての学習だけでなく、機械制御や生産、品質の学習を含んだ機械科の基礎・基本科目のひとつです。関心・意欲を持って取り組んでください。 ・電気の基礎においては、いろいろな場面で計算力や読解力が必要となります。授業では問題集を用い、それらの基礎についても学習します。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（電子機械）・電子情報技術	単位数	2	単位	履修年次	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータのソフトウェアおよびアルゴリズムに関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力を養う。 						
使用教材	【教科書】電子情報技術 新訂版（実教出版）						
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解			
	電子情報技術に興味や関心を持ち、意欲的にその原理・性質を理解しようとする。身近な事象に対しても探求しようとする。	電子情報技術の理論を式の変形や計算によって処理するための基礎的な知識や技術を適切に活用する。さまざまな装置及びシステムについて深く考えている。	電子情報の理論について式の変形や計算により適切かつ正確に処理する。電子情報技術を効果的に活用するための知識・技術を理解している。	さまざまな電子情報技術について、その相互の関係を含めて十分に理解している。現代社会における電子情報技術の意義や役割を理解している。			
評価方法	目標を踏まえ、電子情報技術に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の表し方の理解 ・コンピュータの電子回路の理解 ・コンピュータの機能と構成の理解 			<ul style="list-style-type: none"> ・日常、我々が使っている 10 進数とコンピュータなどのデジタル機器における 2 進数、16 進数の扱い方の違いを理解する。また、コンピュータの各種演算に使われる論理回路やフリップフロップなどの基本回路の原理を理解します。 			
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの機能と構成の理解 ・制御プログラミングの理解 			<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの内部の構成及びデータの流れや処理の方法について理解を深める。さらに、システムを構成するための周辺装置について特徴や原理を理解します。 ・プログラムの言語や構造の基礎を理解し、制御用プログラムの作り方と応用の仕方を理解します。 			
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの利用とネットワークシステムの理解 			<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを効率よく動作させるためのOS、コンピュータの処理形態やネットワーク技術、コンピュータを利用したマルチメディアの利用技術を理解します。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・電子情報技術に関する用語の知識が必要となりますので、予習復習を行う必要があります。 ・2年次の「電子計測制御」で学んだことが基礎となります。 						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（工芸デザイン）・ユニバーサルデザイン	単位数	2	単位	履修学年	3	年
目 標	・ユニバーサルデザインの理念と実践を中心に、使い手の立場から考えた住環境の施設・設備とは何かを学習し、モノづくりに対する基本的な姿勢と柔軟に対応できる能力を身につける。						
使用教材	【副教材】 三重県発行資料、自主教材（プリント）						
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解			
	ユニバーサルデザインに関心を持ち、将来住居に関わる仕事に従事するものとしての視点を持ち、学習内容を問題解決に活用しようとする。	日々の生活を例にして、学習した知識を検証すると共に、広い視野にたつてユニバーサルデザインについて考える。	ユニバーサルデザインについて自らの考えや課題解決について教育機器等を用いて発表することができ、その表現方法を工夫することができる。	ユニバーサルデザインについて基礎的な知識を身に付けている。			
評価方法	目標をふまえ、ユニバーサルデザインに対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」、「知識・理解」は定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査等、総合的に判断し評価します。						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	1. ユニバーサルデザイン基礎編 ・ユニバーサルデザインとは何か？			・ユニバーサルデザインとは何かを、提唱者の理念から変遷を概略的に学習します。 ・バリアフリーとの違いを学習します。 ・ユーザビリティ、アクセシビリティ等の視点について学習します。			
2 学期	2. ユニバーサルデザイン実践編 ・ユニバーサルデザインの実践例			・住居の実践例を学習します。 ・設備機器の実践例を学習します。 ・その他什器の実践例を学習します。			
3 学期	3. ユニバーサルデザイン応用編 ・ユニバーサルデザインの方向			・ユニバーサルデザイン開発のプロセスやユニバーサルデザインを取り巻く現在の資格や法律について概略を学習します。			
学習上の留意点	・欠席をした場合は、必ず授業内容を確認し、追いつく気持ちが大切です。 ・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にしてください。 ・日々の自分の生活環境に関心を持ち、実生活から学習した知識を検証する態度が必要です。						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	農業（総合選択 B）・生物活用		単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	身近な暮らしの場において植物の栽培や動物の飼育方法を学ぶ。そして、生物の活用における生活の質（QOL）の向上と健康の改善を図る。そのために、経済的生産に関する部分は除き、活用の効果と方法を学ぶ科目である。					
使用教材	【教科書】生物活用（実教出版）					
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解		
	現状について学び、それらを活かそうとする開発力と態度を身につけている。	動植物の個性をとらえ、ときどきの状況に活かせることができる。	実習や講義を体験して工夫をこらしている。時間内に適格に表現できる。	園芸や動物の活用方法を理解している。		
評価方法	「関心・意欲・態度」と「思考・判断」、「技能・表現」、については、日々の授業を中心に評価を中心に評価を行います。「知識・理解」については定期考査をもとに評価します。具体的には、日々の授業態度、提出物、実技実習をもとに、総合的に判断し評価します。					
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		
1 学期	<input type="checkbox"/> 「園芸装飾」実習 1～2 <input type="checkbox"/> 生物活用の意義と役割 <input type="checkbox"/> 生物を活用した療法 <input type="checkbox"/> 園芸作物の栽培と活用			国家園芸装飾技能士から指導をいただき、園芸装飾の技術向上を図る。 人と植物の関わりについて、歴史や現在までの活用の実際と活用方法を学ぶ。		
2 学期 ～ 3 学期	<input type="checkbox"/> 「園芸装飾」実習 3～5 <input type="checkbox"/> 動物の飼育と活用 <input type="checkbox"/> 生物活用の実際			国家園芸装飾技能士から指導をいただき、園芸装飾の技術向上を図る。 人と動物の関わりを学び、飼育方法、愛玩動物の活用を研鑽する。		
学習上の留意点	・副教材は購入しません。実習時には必要に応じてプリントを用意いたします。					

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	家庭（フードシステム科）食品衛生	単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で衛生的な食生活の実現を担う職業人として、必要な知識を習得する。 ・安全で衛生的な食生活の実現を目指して自ら学び、食品衛生に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。 				
使用教材	【教科書】食品の安全と衛生（公益財団法人 全国調理師養成施設協会）				
評価の観点・評価基準	意欲・関心・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	食品衛生に関心を持ち、進んで学習に取り組むことができる。食生活の安全と衛生に寄与しようとする意欲と態度を身につける。	食生活を安全で衛生的に行うために思考力を高め、適切に判断し実行する力を身につけている。	消毒や洗浄など食生活の安全と衛生に配慮して、器具や食材を扱うことができる。	食生活の安全と食品衛生対策などの食品衛生について理解している。	
評価方法	目標を踏まえ、「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行います。「思考・判断・表現」「技能」は、定期考査、実技テスト等、総合的に判断し評価します。				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○食の安全と衛生 <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生とは ・微生物の種類 等 ○食中毒 ① <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒の概要 ・細菌性食中毒 		<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の安全性を確保することの重要性について理解する。 ・微生物の種類について理解する。 ・食中毒の特徴や症状、発生状況と感染源及び予防についての知識を習得する。 ・安全対策に関する知識を身につける。 		
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、洗浄・消毒・殺菌 ○食中毒 ② <ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス性食中毒 ・自然毒、化学性食中毒 等 ○食物アレルギー <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの種類 ・アレルギー物質の表示 等 		<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒の特徴や症状、発生状況と感染源及び予防についての知識を習得する。 ・食物アレルギーの特徴、症状、発生状況と原因物質及び発症予防についての知識を習得する。 ・食品添加物の種類や使用方法について理解する。 ・食品への有害物質の混入や人体・環境への影響について理解する。 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○食品添加物 <ul style="list-style-type: none"> ・食品添加物の概要 ・食品添加物と食品衛生関係法規 ・主な食品添加物とその用途 等 ○食品安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生法 ・自主衛生管理 HACCP 等 		<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生関連の法律の目的と概要について理解する。 		
指導上の留意点					

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	商業・ビジネス実習		単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会や組織の仕組み、そこで働く者の姿勢や心構え、基礎的な事務処理能力などについて、秘書検定を題材にし、基本的な理論や技能を理解して身に付ける。 ・ ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行い、経済社会の発展に寄与する能力と態度を養う。 					
使用教材	【副教材】教材として秘書検定2級・3級 集中講義（早稲田教育出版）					
評価の観点 ・ 評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解		
	<p>企業の経営、経済活動に関する諸問題について関心をもち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともにビジネスの諸活動に適切に対応する実践的な態度を身につけている。</p>	<p>企業の経営、経済活動に関する諸問題の解決をめざして自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。</p>	<p>企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な技術を身のつけ、ビジネスの諸活動を適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。</p>	<p>企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、経済社会の一員としての心構えを理解している。</p>		
評価方法	<p>目標を踏まえ、ビジネス演習に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、定期考査等をもとに総合的に判断し評価します。</p>					
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		
1 学期	第1章 必要とされる資質 第2章 職務知識			<ul style="list-style-type: none"> ・ 秘書の心得から、社会人としてまた、職業人としての基礎的な業務や日常の対応について広く学ぶことにより、仕事に対する姿勢を身につける。 		
2 学期	第3章 一般知識 第4章 マナー・接遇			<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業における専門的な語句や社会常識について学ぶことにより、具体的に社会における対応を身につける。 ・ 社会人として、コミュニケーションのとりかたについて学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し方や接遇の対応を学ぶことにより、実社会で戸惑わないように一般的なマナーを身につける。 		
3 学期	第5章 技能 1年間のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ 秘書検定の受け方 ・ マークシート方式の答え方 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の種類やビジネス文書の作成、保管等の技能を学ぶことにより、書類や日程管理を身につける。 ・ 1年間学習したことを復習し、社会人としての基礎的な対応を身につける。 ・ 今までの学習したことを振り返り、その実力を秘書検定に反映させるとともに、社会人としての知識や対応の理解度を確認する。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服装を整え、マナーを守り礼儀正しく授業を受けましょう。 ・ この授業をとおして立派な社会人になるためのビジネスマナーを身に付けましょう。 ・ 日々の授業を大切にして、秘書実務検定の取得を目指しましょう。 					

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	福祉(介護福祉コース)・生活支援技術	単位数	4 単位	履修年次	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケアは医行為であることを理解する。 ・ 対象者の尊厳を守り、自立を助ける支援ができるよう知識を身につける。 ・ 介護従事者として、医療的ケアを必要とする対象者に安全で的確な喀痰吸引、経管栄養を実施できるための知識、技術を身につける。 ・ 医療チームの一員として、他職種と連携することの大切さを知る。 				
使用教材	【副読本】医療的ケア (中央法規出版)				
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度 医療的ケアについて関心を 持ち、意欲的に学ぶ姿勢がみら れる。	思考・判断 介護従事者として医療的ケア の必要性について考えるととも に、対象者の気持ちに寄り添った ケアとは何かを考えることがで きる。	技能・表現 喀痰吸引、経管栄養に必要な技 術を身につけ、安全かつ的確にケ アを実施することができる。 医療的ケアを実施する上での ポイントや留意点を自分の言葉 で表現することができる。	知識・理解 人体の解剖学的、生理学的機能 についての知識を身につけ、その 意義や役割を理解している。	
	「関心・意欲・態度」と「思考・判断」については日々の授業を中心に評価する。 具体的には、授業態度やワークの取り組み状況、提出物にて判断する。 「技能・表現」と「知識・理解」については、試験を元に評価する。 具体的には、実技テスト、筆記テスト、小テストにて判断する。				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケア実施の基礎 医療的ケア 安全な療養生活 清潔保持と感染予防 健康状態の把握 ・ 演習 (心肺蘇生法) ・ 終末期・緊急時の介護 終末期の介護 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケアとはどういったものか、また介護福祉士が医療的ケア を実施できるようになった背景について知る。 ・ 医療的ケアを安全に実施するための基礎的な知識を身につける。 ・ 医療の倫理や医療的ケアに関する法律や介護従事者の役割につい て知る。 ・ 健康状態の把握方法、感染についての知識を身につける。 ・ 心肺蘇生の手順を学び、実践する。 ・ 終末期ケアの意義について学習し、終末期における介護の役割を 理解する。 ・ 終末期における介護のポイントを理解し、利用者の苦痛を取り除 いた介護について考える。 		
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喀痰吸引 基礎的知識 実施手順 ・ 経管栄養 基礎的知識 実施手順 ・ 演習 (喀痰吸引・経管栄養) ・ 終末期・緊急時の介護 緊急時の介護 ・ 災害時における安全対策 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部の喀痰吸引に関する知識、 実施手順、留意点について学ぶ。 ・ 胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養に関する知識、実施手順、留意点 について学ぶ。 ・ 安全で的確な喀痰吸引、経管栄養のケアを実施できるよう技術を 習得する。 ・ 高齢者に起こりやすい事故について学び、緊急時における対応に ついて考える。 ・ さまざまな災害への対応について考え、災害時における介護につ いて学習する。 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演習 (喀痰吸引・経管栄養) 復習 ・ 介護福祉士国家試験対策 ・ 医療的ケア 医療的ケアについてのまとめ 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 再度復習し、安全で的確な喀痰吸引、経管栄養のケアを実施でき るよう技術を習得する。 ・ 医療的ケアの過去問、模擬問題施行、回答解説 ・ 医療的ケアと介護福祉士の役割について総合的に理解する。 ・ 介護福祉士国家試験に向けた対策を講じる。 		
学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療分野の内容となるため難しい部分もありますが、分からない点や疑問点は積極的に質問してください。 ・ 定期的の小テストを実施しますので、復習をしっかりと行いましょう。 ・ 演習では痰吸引と経管栄養の演習を行うため、指定の実習服が必要です。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	農業・園芸福祉(学) ヒューマンサービス科 生活福祉コース	単位数 2 単位	履修年次 3 年	
目 標	園芸福祉に関する基本的な知識と技術を習得して、福祉分野での活用力と態度を培う。また、園芸作物の特性と管理の方法を学んで、教育・医療・福祉などの他分野との関わりを理解する。			
使用教材	【教科書】なし 【副教材】園芸療法 源草社			
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度 植物の新たな利用に関心を持ち、園芸福祉の知識や技術を取り入れようとする意欲を持ち、授業中の課題や作業に積極的に取り組む態度を身につけている。	思考・判断 園芸植物の特性を認識し、場面・用途における利用植物や用具を判断する能力を身につけている。	技能・表現 フラワーアレンジメントなどのデザインまたは創作する技能を身につけている。園芸作業の基本技術が身に付いている。	知識・理解 身体的効果・精神的効果・社会的効果を理解し、福祉分野での利用方法の知識を身につけ、私たちの生活の場との関わりを理解している。
	評価方法 授業態度、出席率、プリント提出、レポート・課題提出、定期考査等を総合的に評価する。			
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い	
1 学期	園芸療法と世界の現状 園芸福祉をはじめるにあたって 夏野菜栽培		<ul style="list-style-type: none"> ・園芸療法と園芸福祉について学び、対象者の違いと活動内容を理解する。 ・実際に活動するにあたっての心構えを理解する。 ・野菜栽培の技術を身につける。 	
2 学期	地域性を活かした園芸福祉のあり方 すぐに取り組める園芸福祉のいろいろ 秋まき1年草の栽培		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とともに、誰もが関わることができる園芸を活用した地域づくり方法を学ぶ。 ・園芸作物の多面的利用術を学び、地域に根ざした活用場面を探る。また場面を想定して活用方法を探る。 ・草花栽培の技術を身につける。 	
3 学期	園芸福祉の実践		<ul style="list-style-type: none"> ・草花栽培の経験を活かし、園芸福祉のプログラムを立案し、実践してみる。 	
学 習 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員として、一般社会に出てからの生活スタイルに生かせるよう、相互に積極的なコミュニケーションをはかること。 ・意欲を持って授業に取り組んでいるか、授業内容を理解し、適切に行動できるか、毎時間評価する。話をよく聞き、積極的に行動すること。 			